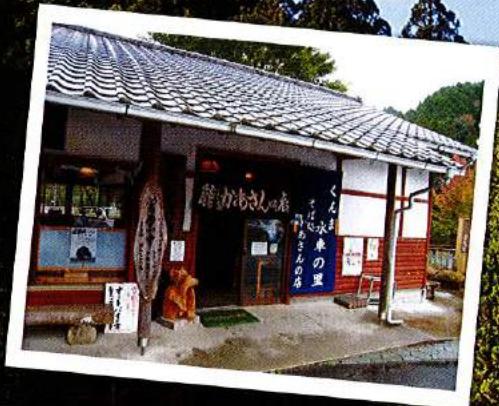




特定非営利活動法人

夢未来くんま

Y U M E M I R A I K U N M A



くまがパツと明るくもっと元気に!

特定非営利活動法人夢未来くんま

熊地区の概要

(1) 地理



熊地区は静岡県浜松市中心部より北西部に位置した
緑豊かな地域です。



天竜区

(2) 主要産業



地区内には23の集落があり、地区面積の87%を山林
が占め、古くから林業が盛んで、天竜美林を形成する中心
的な主要林産地帯である。林業と茶栽培が主要産業である。



(3) 昔は宿場町、今は人々の憩いの場



地区のほぼ中央を天竜東栄線（県道9号線）が縦断しており、かつては、秋葉山・鳳来寺街道と善光寺・奥山
街道の交わる交通の要衝として賑わった宿場町であった。

道の駅「くんま水車の里」には、味噌、そば、こんにゃくの惣菜加工施設、水車小屋、そばを中心とした食事処
「かあさんの店」、物産館「ぶらっと」がある。

また、敷地内を流れる阿多古川には間伐材利用の階段護岸が整備され、人々の憩いの場になっている。

NPO法人夢未来くんま

夢未来くんまの思い



そば打ち体験

水棲生物観察会



五平餅体験

夢を
育む



棚田体験(しめ縄)



くんで
集う



生きがいサロン 「どっこいしょ」

優
しさ
未来

環境

福祉



大寒謝祭

未来への夢を繋ぐむらづくりがNPOに!!

(1) 経過

経済・社会の構造的な変化に伴い、基盤産業であった林業の衰退と少子高齢化の波は地域を直撃した。昭和30年に2,512人あった人口が昭和60年には1205人を割り込み、支え合いの組織の活動も弱体化を余儀なくされた。

危機感を共有した私たちは昭和61年に、全戸に加入を呼びかけ「熊地区活性化推進協議会」を組織し村おこし事業に着手した。昭和63年度、そばを中心とした農産物の加工・販売・体験の施設を整備し、地域の活性化に取り組んだ。

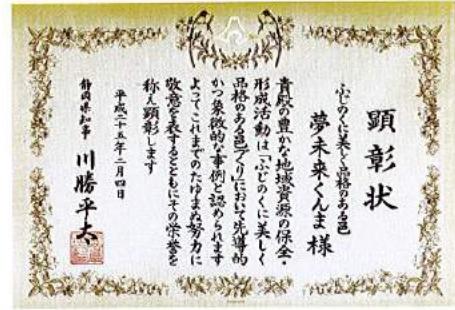
それらの活動が評価され、平成元年度、農林水産祭「村づくり部門」において天皇杯を受賞し、活動の励みとなった。平成12年6月、従来の熊地区活性化推進協議会を発展的に解消し、静岡県の認証を受け、「特定非営利活動法人夢未来くんま」として新たな挑戦を始めた。



天皇杯受賞



「くんま水車の里」竣工式



ふじのくに美しく品格のある邑 受賞

活動の概要

(1) 地場産品の高付加価値化と販売

高品質と安心・安全の精神を具現化した地場産品（味噌、漬物、蕎麦、茶、椎茸、木製品）の生産と販売に取り組んでいる。また、これらを含めさらなる需要を産む商品開発や販売方法の工夫にも力を注いでいる。



(2) 福祉と環境

独居高齢者への夕食の配食サービスや1日をみんなで明るく過ごす生きがいサロン「どっこいしょ」の活動を行っている。また、棚田の維持保全、ホタルに代表される動植物の保護、水源涵養のための森づくりなどにも取り組んでいる。



(3) 交流と移住促進

交流人口の増大を図り、ふれあいと交流を深めるために、各種のイベントを企画・実行している。また、これらの人々を受け入れるための施設整備や運営サービスの向上に努めるほか、スローライフを求めて新たに定住または移住を希望する方への支援活動にも積極的に取り組んでいる。



NPO法人夢未来くんま組織図



むらづくりに関する年表

- 昭和31年 熊村外1町4村が合併し二俣町として発足
- 昭和33年 市政施行し天竜市として発足
- 昭和51年 神沢生活改善グループ誕生（会員53名）
- 昭和56年 熊婦人会が「くんま生活とその文化」を刊行
- 昭和58年 第3期山村振興農林漁業対策事業により生活改善センターを建設
- 昭和60年 農産物加工グループ誕生 手づくりみそや保存食づくりに取り組む
「明日の熊を語る会」開催
- 昭和61年 熊地区活性化推進協議会を全戸（306戸）加入により設立
山村都市交流事業など活性化をめざしたイベントを開催
- 昭和62年 ふるさと活性化事業がスタート 農産物加工販売施設建設
「くんま水車の里」グループが女性を中心として誕生
水車の里に間伐材を利用した階段護岸が完成
- 昭和63年 村おこし「くんま水車の里」竣工式開催
そばを中心とした食事処「かあさんの店」オープン（5月）
体験交流施設「ふれあいの家」が完成
「ほたるを見る会」や「ふるさとまつり」など活性化を目指した
イベントを開催
- 平成元年 第28回農林水産祭「むらづくり」部門で農林水産大臣賞・天皇杯受賞（11月）
- 平成2年 遠州鉄道バス停名称変更「熊車庫」から「くんま水車の里」に
- 平成3年 かあさんの店増改築・こんにゃく、惣菜加工施設を建設
- 平成4年 農村公園「あざまる公園」が整備され、記念植樹開催
「くんま水車の里音頭」を公募選定（犬塚朝男氏作詞作曲）
- 平成5年 熊活性化センター「熊愛館」が完成
- 平成6年 第一回大寒謝祭を開催
- 平成7年 「くんま水車の里」道の駅に認定（4月）
- 平成8年 くんまの味・技展（物産コンクール）開催。ホタル護岸を整備拡大
- 平成9年 「くんま水車の里」10周年記念事業開催
- 平成10年 「くんま」のシンボルマーク募集、馬場のり子氏に決定
天竜市市政40周年記念式典で「くんま水車の里」が地域振興感謝状
を受賞
パソコンを導入し、経理の合理化・簡素化を図る
NPO化へ本格的な検討開始（講師：渡辺豊博氏）
- 平成11年 熊平水辺の里オートキャンプ場オープン
「大栗安の棚田」が全国棚田百選・静岡県棚田等十選に認定
- 熊地区活性化推進協議会の発展的解消を合意（11月）
- 平成12年 特定非営利活動法人夢未来くんま設立総会開催（3月）
夢未来くんまが特定非営利活動法人として県より認証（6月）
法人登記（7月）



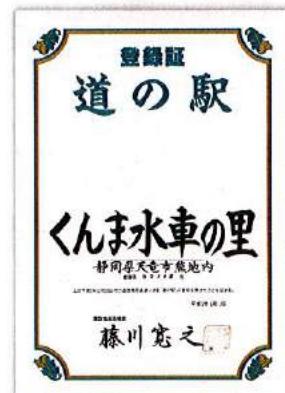
「くんま水車の里」グループが
女性を中心として誕生
昭和62年



かあさんの店オープン
昭和63年



天皇杯を受賞
平成元年



道の駅に認定
平成7年



シンボルマークの決定
平成10年

平成12年 「くんま子どもの水辺協議会」発足

第2回「しづおか森の体験講座」熊を会場に開催(平成12~17年)

生きがいサロン「どっこいしょ」・配食サービス活動開始

独居高齢者へ夕食の配食サービス開始(月1回)

「子どもの水辺」事業実施

水車の里・ほたるの里・熊平水辺の里の3カ所を「子どもの水辺」として登録

特定非営利活動法人夢未来くんま設立記念式典開催(11月)

平成13年 物産館「ぶらっと」オープン(木質資源有効利用緊急特別林業構造改善事業)

一級河川阿多古川ふるさとの山・川まもり隊育成事業(県土木事務所委託)

平成14年 子どもの水辺事業(文科省委託)山・川まもり隊育成事業(県委託)

平成18年 子どもの水辺事業(浜松市補助)

平成19年 子どもの水辺事業(浜松市補助)

浜松市交流居住モデル事業(浜松市委託 平成19年~平成21年)

平成22年 公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金(第5回アルプホルンセミナー)

浜松型田舎暮らし交流事業(田舎暮らし交流体験ツアー・棚田ウォーク)

三遠南信地域社会雇用創造事業~社会的企業人材創出・インターンシップ事業

平成23年 はままつの森林づくり事業(浜松市補助)

棚田ウォーク(グリーン・ツーリズム協会補助)

平成24年 「夢未来くんま」が全国の地方新聞社と共同通信社が設けた

「第二回地域再生大賞」を受賞(2月)

第7回アルプホルンセミナー(公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金)

子どもの水辺事業(平成24年~平成25年 県補助金)

平成25年 「夢未来くんま」が静岡県が設けた「ふじのくに美しく品格のある邑」顕彰状を受賞

第8回アルプホルンセミナー(公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金)

平成27年 道の駅に登録され20年となる

第10回アルプホルンセミナー(天竜区地域力向上事業)

平成28年 「夢未来くんま」が都市と農山漁村の共生・交流推進会議が設けた

オーライ!ニッポン大賞を受賞

第11回アルプホルンセミナー(天竜区地域力向上事業)



物産館「ぶらっと館」完成
平成13年



第二回地域再生大賞を受賞
平成24年



美しく品格のある邑顕彰状を受賞
平成25年



オーライ!ニッポン大賞を受賞
平成28年

むらづくりに関する事業費

昭和60年~平成元年までの事業費：160,104,000円

国 費： 4,650,000円
県 費： 49,313,000円

一般市費： 61,849,000円
財 産 区： 42,922,000円

活性化推進協議会： 1,370,000円

施設紹介



(1) かあさんの店

30年以上続く、そば処「かあさんの店」。毎朝蕎麦を打ち美味しい蕎麦を提供しています。天ぷらもオススメです。



(2) 物産館「ぶらっと」

くんま水車の里で作った味噌や漬物等を販売しています。木製品や地元野菜も販売しています。



(3) 味噌・漬物加工施設

阿多古川を橋で渡った先に味噌・漬物加工施設があります。ここで、くんま水車の里の蕎麦も毎朝打っています。



(4) こんにゃく加工施設

こんにゃく芋から加工し、くんま水車の里オリジナルこんにゃくを製造しています。手作り味噌の保管場所もあり。



(5) ふれあいの家

そば打ち体験や講演、様々な研修、地域の人にも利用されています。



(6) 水車小屋

くんま水車の里シンボルの水車です。沢の水の落差を利用して廻っています。

夢未来くんまの原動力

(1) 道の駅でオリジナル商品を生産

道の駅くんま水車の里では味噌、漬物、蕎麦、菓子など手作り品を製造、販売しています。それらの多くは無添加・無着色の安心、安全な商品です。なるべく地元の野菜を使用し、地産地消を行っています。昔ながらの味を多くの方々に提供しています。



・きんざんじ(ごぼう味、ゆず味)



・水車みそ(米麹、麦麹、あわせ)



・はりはり漬け



・宮口小梅



・水車そば



・寒風干大根



・そばマドレーヌ



・そばかりんとう(生姜、ごま)



・駄菓子飴



・きやらぶき



・生姜の赤漬け

写真で振り返るくんま水車の里



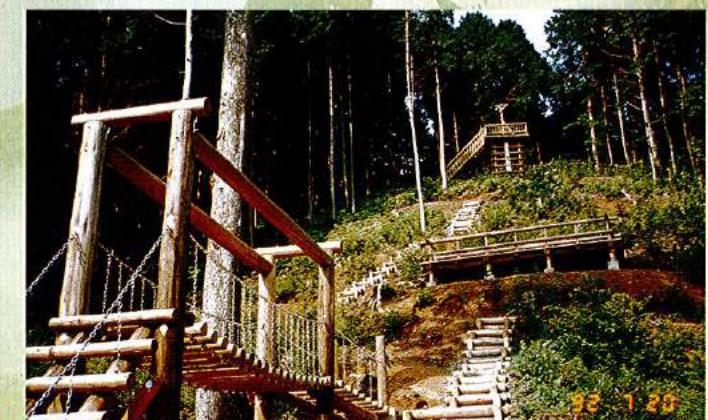
平成元年　くんま水車の里グループ



平成元年　静岡県齋藤知事　来熊



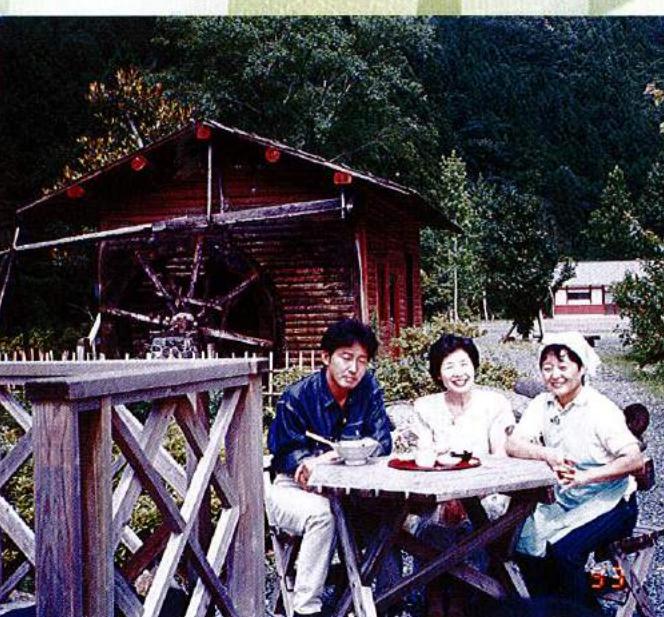
平成元年　天皇杯受賞明治神宮にて



平成4年　あざまる公園(当時)



平成4年　北遠大鍋大会



平成5年　辰巳琢郎さんと



平成4年　六郎沢ほたるの里でそばの刈入れ



平成5年 第2回くんま闘茶大会



平成10年 4月25日 インド シン大使 来熊



平成12年 静岡県石川知事 来熊



平成24年6月27日 アフリカ保健能力向上コース視察



平成27年 道の駅に登録され20周年



平成27年 くんま水車の里OG会



平成28年 川勝知事へオーライ!ニッポン大賞受賞報告

道の駅 「くんま水車の里」



●お問い合わせは

特定非営利活動法人 夢未来くんま

〒431-3641 静岡県浜松市天竜区熊1976-1
TEL(053)929-0636 FAX(053)929-0625

<http://www.kunma.jp>



 [kunma.jp](https://www.facebook.com/kunma.jp)
 [@yumemiraikunma](https://twitter.com/yumemiraikunma)
 "くんま"で検索。